

Day 33：真のしもべはどのように行動するのか

「もし、あなたがたが一杯の冷たい水を、わたしに従うこれらの最も小さな者たちの一人に与えるなら、確かにあなたがたはその報いを受けるようになるのです。」(マタイ 10:42、NLT)

この世において、偉大な人とは、権力、所有物、地位、名声などといった社会的地位で決まります。しかし、主イエスはその人がどれだけ仕えているかという観点から人の偉大さを測るべきだと言われます。あなたは、自己中心的な生き方のためではなく、仕えるという目的のために造られたのです。あなたの適性に基づいて主要なミニストリーが与えられますが、神様はしばしば自分の形に向かない仕え方をさせることで、私達のしもべとしての成熟度を試されます。今日は、神のしもべの行動の6つの特徴を紹介しましょう。

**いつでも仕える用意ができています：**都合の良いときに仕えることは誰でもできます。しかし、不都合なときであっても、必要なら行動を起こすのが真のしもべといえます。兵士のように、しもべはいつもその任務のために待機しているのです。それは、自分のスケジュールをコントロールする権利を放棄し、必要なら自分のスケジュールを変更して下さってかまいませんと神の御前に認めることを意味します。あなたは、急な用事が割り込むときにそれをミニストリーの機会としてとらえ、喜んで受け止めることができるでしょうか？

**人々の必要に気を配る：**聖書が「機会があればいつでも、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに対して善を行っていく必要があります」というように、しもべはいつも人助けの機会を探し、すばやく行動を起こします。同じ教会の家族を手助けすることは最優先事項なのです。一度しかない大切な奉仕の機会を逃さぬよう繊細さと自発性を養いましょう。神のしもべと呼ばれたジョン・ウェスレーのモットーは「あらゆる手段を用いて、あらゆる方法によって、あらゆる場所で、あらゆる時に、あらゆる人に対して、自分にできる限りの、あらゆる善を行うこと」でした。小さな仕事をまるで偉大な仕事をするように取り組む時、神は微笑まれます。

**今もっているもので最善を尽くす：**「うまくできないので、やめておこう」という言い訳をしたことはありませんか？「状況が完全に整うのを待っていたら、何一つ成し遂げることはできない」という聖書の教えは、神が完璧性よりも、あなたがいるその場所で、与えられているものを用いて、できる範囲のことをするようにと期待していることを明らかにしています。神に用いられるために完全である必要はありません。

**どのような務めにも等しく情熱を注ぐ：**真のしもべにとって重要なことは、奉仕の規模ではなく、その奉仕の必要性です。主イエスは、人が嫌がり、人目につかない卑しい仕事を率先して心から行いました。人の足を洗い、子供たちの面倒を見、朝食を用意し、病人に仕えました。イエスは、その偉大さのゆえに、一番下にまで下られました。偉大な働きをする機会というのは、しばしば小さな仕事を装って訪れるものです。喜んで、「普通に必要に応え、仕える」ことで、あなたのしもべとしての品性が育っていくのです。

**自分のミニストリーに忠実である：**しもべは、与えられた務めを全うし、責任を果たし、約束を守ります。投げ出したくなるときにも、落胆しそうになっても、あきらめません。アブラハム、サムエル、テモテ、パウロなどの信仰の先輩は皆、このように信頼のおける、頼りになる神のしもべでした。与えられた務めに忠実になるとき、あなたはいつの日か「よくやった。良い忠実な僕だ」という、神様からの誉め言葉を聞くことでしょう。

**いつも縁の下の力持ちである：**「謙遜を身につけ」ているしもべは、自分の働きが人に認められるようになって、出世しようとしたり、自分に注目を集めようとはしません。それらを

## Daily Devotionals

第4の目的：あなたは神に仕えるために造られた

謙虚に受け止め、ただ一人の聴衆である神のために生きるのです。あなたは今、人目につかない仕事を、誰からも感謝されることもなくしているかもしれません。しかし、神様がある目的のために、あなたを今いるところにおかれていることを覚えておいてください。天国においては、この地上で誰にも知られずに使えてきたしもべたちが、神様からの豊かな報いを受けていることでしょう。どうか気落ちしないで、神に仕え続けてください。

今日のポイント：人に仕えることを通して神に仕えます。

考えてみましょう：真のしもべに見られる6つの性質のうち、自分にとって最も必要なものは何でしょう？